

# 「行動する保守」の論理（1）

——中国が重要というα氏の場合——

樋口直人

（徳島大学総合科学部）

## Logics of the ‘Aggressive Conservative’ Movement (1)

The Case of Mr. α

HIGUCHI Naoto

University of Tokushima

### 1. 「行動する保守」とは何か

日本で右翼といえば、特殊な塗装を施した街宣車に大音量の軍歌、同様に特徴的な服を身にまとった人たちといったイメージがある。だが、そのような街宣右翼（行動右翼）と呼ばれる存在に対して、1970年代後半から新右翼と呼ばれる運動が現在に至るまで続いている。筆者の問題関心に照らし合わせて興味深いのは、こうした新右翼の一部から排外主義に傾く活動家が現われ、2000年代後半以降の排外主義運動につながった点である。

一般に右翼は、天皇制と反共には関心が高かったものの、「外国人問題」には無関心に近かったとあってよい（Szymkowiak & Steinhoff 1995）。それに対して、排外主義運動の指導者の1人である瀬戸弘幸氏は、運動が立ちあがる以前から「外国人問題」を取り上げていた（瀬戸 2000）。その後、瀬戸氏らは「行動する保守」として排外主義を機軸に据えた街宣活動を展開し、それが在日特権を許さない市民の会（在特会）のような若年層主体の運動団体を生み出すに至っている。一般向きの情報発信に熱心でなかった旧来型の右翼と異なり、ブログや動画などインターネットを用いた情報拡散など、手法面でも大きな変化を遂げている。その結果、「行動界限」と揶揄的にいわれる排外主義運動は、全国に広がるようになっていく。

なぜこうした運動が広がりを見せたのか、これらの運動はどのような特徴を持つのか。これらを中心的な問いとして取り組む研究者は増加して

いるが（別稿で概観）、筆者は移民研究を専攻する者として別の問いを立てたい。すなわち、右翼は「外国人問題」に関心がなかったのに、なぜ「行動する保守」はそれを中心的な問題とするようになったのか。

これを解明するべく、最大規模の在特会およびそれと協力関係にある（あった）団体の活動家に対して、2011年から聞き取り調査に取り組んでいる。在特会の活動家については、「在特会の論理」として聞き取りデータを順次公開している。本稿を含む「行動する保守の論理」のシリーズは、在特会の会員だったり協力関係にあるが、主な帰属は在特会以外である活動家への聞き取りをまとめたものである。本稿では、そのうちの1人であるα氏（60代男性）に対して2011年4月16日に2時間実施した聞き取りをまとめている。以下、「結語に代えて」までの記述はすべてα氏のトランスクリプトを用いている。読みやすさを保つため適宜順序を入れ替える、あるいは匿名性を保つため部分的に削除した部分もある。が、文章自体はすべて本人の語りを収録していることをお断りしておきたい。

### 2. 右派活動に関わるまで

《「外国人問題」への関心の根源》

ひとつには僕はそのチベット問題、これはシナの問題だからね。中華人民共和国の問題だから。その中華人民共和国、シナの問題に関心を持った

って言うのは、僕がちょうど高校生の時だからね。文化大革命ね。常に新聞のトップを飾る出来事だった。そのあとをついでフランスの学生の革命があった。ちょうどそれで僕より3つ上の兄貴達があったんでね——彼たちは東京の大学に行っている——夏休み冬休み友達なんか連れてきて、いろいろディスカッションして、それを僕は中学校のときから高校のときまでずっと耳にしている。他の人と比べると基本的な情報量ってのはしっかり整ってた。やっぱり毛沢東、中国共産党、それがありましたね。

それで僕が東京に出てきたのが昭和44年かな。そのときちょうど東京で兄貴達がそのまあ、全共闘の運動とかやって、第二次羽田闘争とかあったかな。あと三里塚なんかもあってね。その中でまあいわゆる社会運動っていうものに目覚めていくよね。それがブームだったから。その頃まではまだね、特段外国の問題たって僕はほとんど知らなかった。僕がチベット問題に関わるようになったっていうのは、ひとつには全共闘とか学生運動、さらに右のほうからも若干そういう風に参加してたんだけど。

要するに学生っていう身分そのものが、社会にやっぱり基盤を持っていない。一時的な鬱憤晴らしで。さらにはたとえば家庭なり結婚なんかしていて、自分の生活に責任持っていないから、やっぱり運動そのものに対する責任性がない。だからやっぱり社会から反感買うような運動に突っ走っていった。学生運動が分裂していきましたよね。革労協、中核派、核マルとね。ああいうものに対してこれはもうだめだという感じで。僕は23、4（歳）の時だね。僕は大学は2年で中退しているから。それはやっぱりそういう問題も絡めてね。

僕は自分で職を持ったほうがいと資格とって、ずっと今に至るように飯食ってきた。その中で23、4（歳）かそこらでもって僕はもうはっきりいって、いわゆる挫折だよ。民間会社でずっと勤めて、それが32、3（歳）くらいまでだね。それでやっぱり運動に——左翼運動よりもどちらかといったら保守系の運動のほうを客観的にみるようになった。

### 3. 反中国活動

その過程でチベット運動にふれると同時に、ちょうどあの第二次天安門前事件があった。天安門

広場で虐殺された。それで一気に僕は外国問題、特にチベット問題だ。

それまで比較的日本の国ってのは安定していたんだよね。82年まではね。82年に第一次教科書問題があった。教科書誤報、進出が。あれでもってシナの問題が強烈に意識にでた。完璧にこれは、国民教育に対する内政干渉で、それに自民党政府が屈していくっていう。それに絡めてチベット問題も一気に。しかもおしゃべりじゃなくて表でやるっていう。なぜかという、日本の保守は表で全然運動できないから。

（この時点では、在日中国人を標的とした活動は）やらない、シナ人たちは。シナ人って非常に慎重な民族でね、簡単に乗ってこない。なぜ僕がこの問題をやるかっていうと、あの時代はチベットががんばったんですよ、やったんですよ。ダライラマでも独立掲げてね。だから我々もそれを支援すると。ダライラマがね、ノーベル平和賞をもらってからガラッと変わってしまったわけですから。独立を認めないわけですよ、もう。シナの連邦共和国でいくってわけですから、話にならない。ガンジー首相だって非暴力は伝えけど、独立を放棄するところまでやらなかったわけですから。それでこういうことですよ。常にデモとか何かやるときに、必ずチベット国旗を日本の国旗と一緒にたててやっているわけですよ。これは日本の国旗をモチーフにしている、日の丸を。だから常に日章旗と一緒にね、僕らはこれを掲げてた。

ところがね、ダライラマがノーベル平和賞をもらうまでは、日本にいるチベット人はものすごい貧しかった。チベット人というのは、高地民族で色が黒くて着るものはいつも地味。はっきりいってなんというのかな、浮浪者みたいな感じがしないでもないわけよ。しかも非常に中途半端でしょ、流浪の民なわけだから。だからほとんど相手にしてくれなかった、誰も。

ところがこの方たちが、ダライラマがノーベル賞をもらってから、ダライラマ法皇日本代表部から完全に距離をおかれちゃった。それまでは朝日新聞だろうが毎日新聞だろうが、ダライラマ相手にしてなかった。それがダライラマがノーベル平和賞を取ったとたん手のひら変えた。世界的なステータスだから。ダライラマが日本に来るとなったらとにかくゴマすって、代表部に頼んでどうのこうのね。それまでは今まで話ししてくれなかつ

た偉い人が来るとか、入ったことがないようなホテルとかね、食べたことがないようなレストランでものを食べれた。そうすると人間は変わる。しまいには国旗持ってきたらダメだと、あれ持って来られたら右翼だと。そういうことがあって、はっきりいって5年前に、完璧に僕らはもうチベット運動から手を引いたんだよ。

そのときなぜやめたかっていうと、はっきりいって日本の国がダメなわけだから。日本の国が。たとえば、自分の家が火事になっているわけですから、そうしたら台湾とかウイグル、チベットなんかの消火作業やっているヒマないでしょ。

僕は台湾問題でも昔からずっとやってきた。最初のほうから。台湾研究フォーラムを立ち上げるとかね、今から15、6年くらい前からかな。台湾の二重国籍の問題でデモだとか。ただ、何でやらなくなったかというのと要するに、チベット人にしても台湾人にしてもウイグルにしても、彼らは日本人のことは利用するんですよ。日本人バカだから人がいいから。彼ら日本のこと絶対にやらないから。そして今言いったようにね、自分の家が火事になってね、2階から子どもがお父さん助けてくださいというのに、隣の消火作業をやるのは偽善ですよ。だからはっきりいって、今僕はウイグルだとか台湾問題でね、やっているやつは偽善だと思っている。だって日本のことやらないでしょ。あんた日本人なんだからさ、いや台湾人とかチベット人だったらこれやらなきゃね。僕は台湾人チベット人が日本人の善意を使ってね、シナのこと一生懸命やるとなったら当たり前のことでしょう。それに対して僕らは日本のこともやるって、これもおかしい話だと思う。それが当たり前なんですよ。

問題は、当たり前じゃないのは自分の家が火事になっているのにね、人の家の消火作業やって私素晴らしいでしょ、たくさんやっているでしょ、って。で、チベット人とかウイグル人とか台湾人からお礼言われて喜んじゃってる。愚かだって。

（火事というのは）日本で尖閣諸島の問題、地震の問題、南京大虐殺の問題もあったし、慰安婦強制連行の問題もあったし。外国人参政権の問題もありました。簡易国籍法が成立した時もそうだったし。まだまだまだいっぱいある。シーシェパードのときだってそうだし。

（そういう問題は以前からあったでは）そうい

うことですよ。なぜかという、何だって隣のうちを自分のものにする時にいきなり台所まで突っ込んでここは俺の家だといって飯食ったりしないよ。少しずつ様子みてくんですよ。ずっとそうでしょ、シナのやり方は。だから石橋をたたいて渡っていると言っているんですよ。少しずつ少しずつやってくんですよ。一気に何かやらない。それは愚かですよ。やらないですよ、シナ人は賢い人間だから。今まではくすんでたけどね、火が燃えているんですよ。僕はもう終わっちゃったと思っている。だから僕は淡々としている。だいぶ声に元気も出なくなったな。

#### 4. 既成右翼運動について

いわゆる左翼に比べて右のほうは運動の理論とか思想がないんですよ。要するにはっきりいって自民党っていう——自民党は保守なわけですから、その保守の傘の下でそこそこにしてれば食わしていけるわけですから。たとえば教科書問題とかあったとか何とかいったってね、それでもって具体的に我々は生活に困ることないから。少なくとも左翼のピンからキリまでいるけどね、とにかく自民政権を打倒すると、引きずり倒すというところで非常にしっかりしているわけですから。まあ、中には社会党のみたいね、そういうただべつくした部分もありますけどね。少なくともあと右の人たちと比べて、社会改革の本なんかもしっかり読んで、そこそこ理解してそれを実践しているわけですからね。

右の方たちなんか天皇陛下万歳、皇統2600年、もうこれでおしまいですから。あと何もないわけだから。彼らはよく国体を守れ、国体を守れというけどね、その国体っていうのよくわからないな。天皇を守れっていうのかどうかわからないし。明確な体系だった理論ってものがまったくないんだよ。何が保守なのか。

そうすると少なくとも左翼運動の人たちは、マルクス主義だったらマルクス主義っていうそういうひとつの系統だった本みたいなのがありますからね。そういう理念を持って運動に参加するのと、ただ抽象的に国体を守れ守れじゃ、やっぱ長い時間かけてきたら勝負つくだらうな。

彼らははっきりいって、大正のときからやってきたわけですよ。日本共産党なんか徹底的に弾圧されたなかでやってきたわけですしね。そういう

運動ってのではないじゃない、右の方たちは。弾圧されてね、敵権力と戦うなんてやってないし。彼らは闘いの中でノウハウなり理論なりを蓄積してきたわけですから。そういうのがある人となない右の人では勝負にならない。

今盛んにやっているネット右翼といわれる連中見れば一番わかる。空っぽだもの、何にもないんだから。それひとつとってもね、右の方たちはまったく気力とかないなと思うよ。

#### 《北方領土や反共について》

まああれはあれでやっていいんじゃないんですか。だったら尚更ね、そういう皆さんがたね、天皇大事だとかなんかいったら、5、6年前に『週刊金曜日』が悠仁親王の首をちょんぎっている作家のなんかあった事件知らない？ あのときじゃあなんで右翼が仕掛けて徹底的にやらないのかって。まあちょっと言ったことはあったけどね。あと保守がなぜやらないか。悠仁親王が生まれた時あれでしょ、男が絶えないって神風吹いたって保守が喜んだ。保守がね、神風が吹いて生まれた悠仁親王がああいう風にされたとき、誰ひとり行かないじゃないですか。一体これはなんですかってこと。まあ僕はすぐそばだから行ってやってきたけど。副編集長が謝罪してきた。右翼やらないじゃん、ほとんど。例えば南京大虐殺の問題だって、シーシェパードだって『ザ・コーヴ』だって、全然やらないじゃない。

(反ソと反日教組について) あれはスケジュール闘争だろう。あれは決まっているものなんだからさ。他の事やらないのよ。年に1回どんなことがあったって雨が吹こうが風が吹こうが、これだけはやるって、日教組と北方四島の問題。それはそれで構わないけどね、それしかないじゃない。相撲取りじゃないけどさ、一年を何場所で暮らすいい男じゃないけどさ。ね、一年を日教組と北方領土で暮らすいい右翼じゃ……。だけどこっちは体張って行政に乗り込んでやるわけですから。僕は何もバックアップ何もないですよ。

#### 5. 行動する運動へ

##### 《行動する運動の前身》

(街頭に出るようになったのは) せいぜい12、3年前から。コレ(ヤクザ) じゃないから。あと他(の人たちは) はわからん。それと僕は彼らと

違ったところをやらないと。本来はああいった人たちが凄み利かせれば震え上がるわけよ。やらないもの。俺達は堅気だから、そんな凄み利かせて脅しかけるようなことはできないけど、逆にこっちの方がもっと脅しかけてくるんだけどなあ。行政とか行ってさ、締め上げて帰ってくるんだけどさ。本来はあの人たちがみっちりやってくれればね、僕は細々と資金援助(するだけ) でね、家庭生活営めますよ。あの人たちがやらないから、僕が過激にやるようになったんであって。だから、絶滅を免れた日本人を1人でも2人でも集めて、それを後世にいかに残していくか。それもね、50年100年のスパンでもしか日本を変えることができるかもしれないけど、当面はまったく望みないね。

(チベットの運動時代には) 街頭ではなくてシナ大使館とかそういうところに押しかけてとか、そういうことしていた。僕は、具体的に街頭に立ってやるようになったのは、今から10年前の女性国際戦犯法廷があったのよ。そのときからね。具体的に僕が表に出てやるようになったのは。街頭でマイク握ってやるようになったのは。誰も反応しないから。日本人がね、大陸で慰安婦強制連行やったってわけだから。片っ端から女を捕まえて強姦してね、満州に売春婦を送り込んだ、こんな出鱈目なことをね、世界的な会議でもって決めていくっていう、もう堪えられないってことですよ。

そのとき、この問題のときは日本の右翼と保守が動くだろうと思ったけど、まったく動かなかったのよ。(女性国際戦犯法廷を) やった場所はあの九段会館でしょ。九段会館といったら軍人関係でね、日本遺族会でしょ。そこに日本会議とか英霊にこたえる会が事務所構えてやっているときにね、中止させて下さいと、キャンセルさせて下さいとじゃなくやらせるんだから、あの方達は。だから英霊にこたえる会や日本会議が一番とにかく無視して嫌がっていたのは、あのかを取り上げられると自分達は立つ瀬がないから。じゃあなんてあなた方やらなかったのか。あなた方(会場を) 貸しちゃったんでしょ、極左に。返す言葉ないでしょ。

(右翼の政治的な動きは) やってないでしょ、ほとんど。そりゃ雑誌1ヶ月に1回は出して、その程度はやるんだろうけどさ、何にもやらないですよ。だってあれでしょ、あのNHKで5、6年前

か安倍晋三と中川昭一が NHK の番組に干渉して放送中止させたっていう、あの時僕らは、日本会議を通して中川昭一と安倍に放送中止させてくれて申し込んだんだから。一切無視だったよ。そういうことですよ。やってくんなかった。だって NHK の予算っていうのは我々の税金で賄っているわけだからね。国会で承認されるわけだからね。

あれはね、性奴隷制度なんです。日本軍の性奴隷制度が正式な名前なんです。天皇制を構成する一構成部分とまでやられたわけですよ。本来だったら NHK で放送すると、中止させて当たり前なわけですよ。ところがあれが問題になった時には、2 人は「自分は干渉しなかった、知らなかった、何もしなかった」。嘘っぱちですよ。そんなならやめさせなきゃならない。じゃあ日本会議も何やったか。あのとき何もやらなかったでしょ。そのとき僕らは、やってたわけだから。（彼らは）わかっててやらなかった。だから何もやってなかったってこと。その後問題がどうかなったときには、「慰安婦強制連行、あれは嘘だ」。それは言うだろう、まさか朝日新聞と同じじゃ。あつたって言いやしない。問題はあの時あんたがた何やったんですかって。

（この時の動員は）せいぜい 14、5 人。それで今またその状況にまた戻った。ていうことはね、日本人の場合はいくらネットが普及したとか何とかいったからって、人間の情念を爆発させるってところにはいかないのよ。たとえば中東とかなんかで、いろいろネット革命とかいっているけどならないんだから。デモやったって暴動にならないんだから。僕は残念ながら 100 人くらいしか集まらない。デモ。これが 500 人、1000 人集まったらいくらでもできますよ。警察はできないでしょ、規制できないよ。たとえば行政とかなんかに抗議行くとなんかしたときにね、大体 20 人から 30 人くらいいると結構いろいろできるんですよ。なぜかっていうと、1 人の人間を排除しようとするれば警察官何人いますか？ 3 人いますよ。単純にいったら 50 人いたら 150 人以上いないとダメなんです。1000 人 2000 人 3000 人集まったら何だってできるんですよ。圧力加えられるんですよ。ところができないもの。人集まらないから、来ないから、呼んだって来ないし。だから行政とか何かと交渉する時もね、人数の割合に応じていくら

でもできる。警察だって簡単にできるね、大体わかるから。僕のこと警察は。

ただ、みんなついてくると思ったけど、全然ついてこないから。特に保守が。今僕のところに来てやっている人たちは、まったくそういう保守運動とか右の運動に関わってきていないまったく新しい人たちだから。もっとも皆世代的にそうだね。30 代でしょ。年取っても 40 代。大体 30 代とか 20 代だもの。なまじっかああいう運動に関わってこなかったほうがいいんだな。

#### 《語る運動から行動する運動へ》

だから 5 年前にね、僕はこういうスローガンを出したんですよ。「語る運動から行動する運動」。それが 5 年前ね。それまでは右の方たちも焦燥感を持っているわけよ。河野談話とか村山談話が出る。南京大虐殺が教科書に載る。靖国神社に首相が参拝できない。そういうものは決していいと思っていない。だが行動できないわけですよ、この方達は。結局、夜中に講演会やっておしゃべりやって酒飲んで相手の悪口言って、それで国士をぶるわけですよ。たとえば河野談話にしたってね、村山談話にしたって、あの時なんか大々的なね、それこそ安保を髣髴するところまでいかななくてもいいですよ。それらしきことあったかといったら、全くないわけですよ。なんか 1000 人か 2000 人集まってデモあったことがありましたね、一度ね。

だけど安保みたいにならね、社会に騒乱を、社会に混乱を招くくらいのそういう運動なんかできないですから。はっきりいって弱いんですよ。左に比べたら右の人たちは。ヘタレなのよ。そのヘタレを自覚できていない。酒飲んでああやって、ブーブーあいつらの悪口言って悦に入るのが運動になっちゃっているわけですから。それに対して僕は、語る運動から行動する運動ってのを提唱したのよ。それがいつの間にか行動する保守っていているけど、全然そうじゃない。

アクション、行動を起こしながら発信しながらやらなければ、僕がやっている運動をアピールできないでしょ。だから例えば、1000 人の人の目に触れてね、それで 1 人か 2 人でも賛同して運動に参加してくれば上出来だと思っている。でもそれは運動しなければ発信はできないわけですから。これがこの先どうなるか僕にもわからない。

でも僕は無抵抗主義じゃないから。僕の世代にこういう言葉がありましたよ。力及ばずして倒れるは辞さないが、力尽くさずして倒れるを拒否する。まあそんなもんだよね。そのためには無駄なことはやりたくない。非常に限られたコストでいかに大きな効果を与えるかっていう、その効果をね、日本人が我が物として受け取るかといったらほとんどもう期待はしていないよね。

(運動が広がるという見通しは) あった。今まで日本人は知らないから。情報が不足していると。マスコミに一方的にやられているから、わかれば来るんだと思ってたのよ、こっちも。だけどネットでね、腐るほどわかるわけよ。今から10年前に比べたら情報なんか10倍じゃない、何百倍ですよ。だけど日本人は動かない。そうすると、今まで日本会議なんか学習会とか勉強会やって「日本人知らないんだと、知ればわかる」。あんなのみんな嘘っぱちだって。そうして自分が思っていた主観的な願望は、木っ端微塵に打ち砕かれましたから。

#### 《運動文化の改革》

僕が5年前に行動する運動を——語るから行動する運動を立ち上げた時の目的は2つあった。この2つの目的は僕は達した。1つはデモ行進できるってこと。デモ行進できなかったんだから、びびっちゃって。さらには日の丸を持って街頭での辻立ち演説ができること。これ誰でもできるでしょ。昔できなかったんだから、5年前までびびっちゃって。日の丸持ってれば右翼だって。今どうですか、何もなくなった。僕はこの2つは完全にやったから。日の丸持ち込ませたので何とか言ってきたのは朝日新聞系ですよ。僕ら排除するために。日の丸持って立てなかったんだから、こっち(右翼)の人間は。右翼が汚い日の丸を掲げてさ、檻みたいな車の中に入ってさ、豚小屋みたいな車の中で日の丸掲げて走ってただけで、自分達の生身の体で街頭でやるかって、できなかったんだから。連中は。人を威圧するような戦闘服を着て出るとか、普通のこれ(服)でできなかったんだから、あの連中。

だから今僕がね、ここでもって日の丸持って神田神保町で、「皆さん今回の地震はどうですか。反原発しようとか脱原発って、いかに危険なコストを伴う原子力発電を見直すって形でいかなき

ゃならないんじゃないか」。エネルギー転換施策って、僕のこと右翼って言いますか？ 言わないでしょ、日の丸持ったって。そういう保守に対して意識革命を成し遂げた。

(日の丸を持つ意味) 日本人としての自覚を持ってってこと。我々は本当に空から降ってきて生きているわけじゃない。連綿として先祖の血を引いて人格が形成されて今に至っているわけだし。この日本列島そのものが突然できあがったものではない。先人が労苦を積み重ねて今の日本列島ってあるわけだから。これに我々感謝すると同時に、感謝した場合、後世に託していかなきゃいけない。これが民族精神だと。日本を愛するってことはそういうことですよ。その観点に外国人も立つことができれば、立派な大和民族じゃないですかと僕は思うわけですよ。

#### 《運動の成果》

僕は今まで具体的な仕事として成し遂げたものは、NHKの女性国際戦犯法廷ってありましたね、あれはNHKが放送を拒否した、放送が中止になった、あれに深く関わってやりましたし。あとは小学館で本宮ひろしの『国が燃える』が掲載中止、あれもやった。あとはどうかな、いくつかあったな。あとは南京大虐殺の映画の上映中止とかね、そういうのもいろいろやりました。非常に少ないコストで、ああいう大きな仕事をしてきましたし。

最近でいえばね、『ザ・コーヴ』ってあったよね。あの『ザ・コーヴ』、本当はせいぜい20人かそのくらいですよ、だけどそれがね、日本人が闘っているという形で海外のメディアに報道されたんですよ。なぜ僕らがそれをやったかっていったら、肝心の漁民がやらないのよ。太地町の漁民が、水産業者が。だから僕らがやった。発信してやった。日本人はこうやって怒り狂ってんだと。シーシェパードの裁判所の前でも徹底的に街宣やってね。これをみんな取り上げてくれたけど、じゃあ私たちの運動の輪に参加しますか？ これはネットで大変問題になったよ。だけど結局20人しか集まらないもの。

それでもってね、今僕はザ・アンプラグドという『ザ・コーヴ』の上映会社から裁判で訴えられているよね。じゃあ誰が支援してくれますかといったら、誰も支援してくれないですよ。せいぜい

10人くらいですよ。10人も来たり来なかったり。ということは、日本人はもう動かないのよ。保守が動かないというよりも、日本人が動かないのよ。

デモって何なのかっていったら、社会騒乱なんですよ。社会の騒乱。お花見じゃない、ピクニックじゃないんですよ。交通マヒして、焼き討ちとか暴動とかね、社会にインパクトを与えるんですよ。あんなデモ、100万や200万集まったって何も社会に影響与えないですから、日本の場合は。僕はそんなのは本来のデモじゃないと思ってる。だって日本だってあったんですよ、70年代までは。学生がデモやったら必ず警察とかね、社会にインパクトを与えたんだ、いい悪いは別にして。そういう人間じゃなくなったのよ。

（争点について）まあ、Youtubeとか探せばいろいろ出てるだろうけどね。だって3日に1回やってきたんだから。3日に1回とにかく我々の運動をこういう風にしてアピールすることによって、意識のある人を結集するんだって。だけど意識がある人いなかったんだ。意識があったって動かない。もうこれは証明されたわけだから。3年間4年間やってみて証明されたわけですから。そうすると、5年前に立ち上げた語る運動から行動する運動、この趣旨タイトルを変えなきゃなんないだ。でしょ？ 行動すれば皆ついてくると思ったわけ。行動したってついてこないわけだから。そうすると行動する運動から変えなきゃならない。

今ちょうどいい時期だ。こういう震災があって僕は動かない主義にしているから。よっぽどのがあったら行きますよ。この間の検察庁のね、被疑者を皆釈放したとか、あのときは僕は行ってやりますけど。それ以外のことは。あと東電に菅直人が怒鳴り込んでいったときには、断固としてやると。ああいうときはやりますけどね、今はなるだけ...戦争中だから。行政が主体となってこの処理に当たっている時に、なるだけコストの負担をかけないと。ちょうど僕の考える時もできるし。昔読んで読みたいなと思った本を読み返すこともできますし、ちょうどいいんだ。

#### 《運動のビジョン》

ただ、あえて僕に何でやりますかっていわれたら、僕は党を作っているわけではないから、綱領とかも作っているわけじゃないから。強いて言え

ば、僕がやっていることは、僕は日本人という絶滅を免れた希少種として自分を思っている。僕の発言とかに賛同して運動に参加してくれる人たちは、絶滅を免れた希少品種、軍隊でいったら日本は完璧に殲滅した。そのなかでかろうじて生きながらえているゲリラ。ゲリラの使命は何か、生き永らえることですよ。存在していくことがゲリラのゲリラたるゆえんであって、今は僕はこれしかない。どういう理念でもって闘っているんですかといわれたら、これですよ。だから僕はネット右翼みたいにこれが面白い、あれがよさそうだな、これをやれば皆さんアクセスするなんて、そういう面白おかしい鬱憤晴らし、欲求不満のストレス発散でやっているわけではない。そこは僕は全然違いますから。

だから、たとえばパチンコ反対やるにしても何にしても、いったんその問題に取り組んだ以上は、それに対してきちっとした責任を持った運動として関わっていくし、それがなかったら僕は関わらない。明確なビジョンを持っていますかといったら、せいぜいそれしかないね。

そして私がどういう明確なものを持っていますかと聞かれた場合、僕は議会制民主主義ってのは否定はしていない。少なくとも議会制民主主義がしていくわけだけどそれだけじゃ不十分。民主主義は何かって。民主主義は数ある政治制度の一つであって、それは絶対的なものじゃないから。非常に世相が安定しててね、波風立たないところでは民主主義つまり多数決でしょ。民主主義とは僕は、51%が49%に対する独裁支配だと思ってる。そうすると、民主主義とは国民主権でしょ。1人が一つの権力を持つ、一票っていう権力を持つわけですから。その国民主権なり議会制民主主義を支えるとしたら、非常に有権者の知的レベルが保障されてなきゃ運用できないものだと思う。

政治運動っていったら共産党の党組織ってものを使って細胞を作っていくかないと、そういうところまでしないと政治運動にはならないよね。やるんならそこまででしょ。これができるものかどうかわからないけどね、本当に変革して生き残っていこうとするなら、それくらいやっていかなきゃだめだろ。

だから、日本共産党に過去の党活動をきちっと総括してもらえば非常に僕らも役立つわけよ。結局、失敗したわけでしょ、彼らは。あれだけすご

い犠牲を払ってやったわけでしょ。だが結局成就できなくて、社会党の腐ったような連中が今国家権力を握ったわけですから。あれだけ高邁な思想を掲げてね、どれだけ頑張ったかって、日本共産党は。だからそれをきちっと総括すれば僕の勉強になるわけよ。なぜ日本共産党はできなかったんだって。総括してないでしょ。敵が強かったとか、弾圧されたとか、その程度。それは除名された人が書いたりしているけど、あくまでそれは悪口とかであって、思想的にきちっと総括したそういうものがまだ出てないんでね。本当それできちっとしたもの出してくれたら、今度は僕らのこれからの運動の教科書になるんですよ。

僕の場合は、比較的なるだけ活動家っていう核を育てたいね。文章書ける、話ができる、それが活動家なんです。例えば行政に抗議文を書くとか、その場合、こういう人間の集団としていこうとした場合、数に頼ることはできない。そのためにはかなり地道な思想運動をやらなきゃ。課題図書とか何かを持ってね。でないと思想というのはつかない。そうしたらね、デモやって人がたくさん集まったからって、そんなのは...だから僕はシフト転換したんだ。僕の場合は、政治運動をやるのならそれを支える思想ってのがないとダメ。その思想がね、高いそういう運動のほうにいつまで続けるかはわからないけど、これはちょうどこの震災を境にして続けようとしているってことです。

運動は一時的な鬱憤晴らし、憂さ晴らし、面白おかしいでは続かない。僕はこういう風にして運動やってきているけどね、保守の最大の右のほうの欠点は続かないってこと。早くて1年でしょ、だいたい3年、5年続くかって。まあ5年続けばいいにしても悪いにしても何か残るんですよ。5年続いてやっている人、ほとんどいないでしょ。なぜそうなのか。それは思想がないからなんです。パチンコでぼろもうけしやがって、鬱陶しい奴らだ」って。でも人間の感情ってのは一時でしょ。感情だから。その人の社会生活の環境とか条件によって感情なんかいくらでも変わるわけだから。良かったり悪かったりね。

## 6. 東アジアという磁場

《中国について》

今、アメリカとシナが必ず関わってくるんです

よ。これは今まで想像つかない事態でしょ。この間、長野聖火リレーでちゃんと証明してくれたじゃない。あれ皆学生だよ。統率していたのは人民解放軍だけどね、あれは素人にはできない。日本のいろいろなイベント団体だって、4000人の人間をね、ぱっと一晩のうちに集めてぱっとその日のうちに撤収させるってできませんよ。すでにシナ人を使って一つの都市を制圧したわけですよ。長野聖火リレーは、僕はそういう風に見ているんですよ。そういう捉え方は、国家としてできていないでしょ。ただシナ人が集まって騒いだけ。

たとえばね、日本にいるシナ人たちがいる組織を作って中華街構想を立てるなんてことは、本国の意向と無関係ではないわけだから。その意向を体現したっていう人に対してはね、今後政府の意向だとして僕はやりますよ。それと僕が付き合っているシナ人がどうこうというのは全然違いますよ。もっといえばね、今そうじゃないけどね、かつて日本人は金持ちだ金持ちだ、確かに日本人っていうアバウトな概念だったら日本人は金持ちだ。じゃあ僕が金持ちかって言ったらそうじゃない。同じですよ。シナ人は侵略主義だとかシナ人はうそつきだといってもね、僕が個別に付き合っている〇〇さんがウソつくかっていったら、全然違う次元の問題だから。

ネットはね、僕否定はしていない。使っていますから。ただ諸外国みたいなああいう形にはならない。だってコンピューターの数値で社会を変革するわけじゃないですから。生きている人間を動かすわけですからね。それはチュニジアだとかエジプトみたいにああいう風にはいかないですよ。東日本大地震で暴動が起きないわけでしょ。長野聖火リレーのとき、あれだけやられたってね、みんな黙ってみているわけ、日本人は。普通そういうとき内戦でしょ、あれ。何もないわけですから。

(長野の五輪が運動に及ぼした影響は) あった。大きくあったな。だって、世界的に注目される出来事だったんだから。それにこっちが乗り込んでいったわけですよ。100人。たった100人の日本の右翼のために、折角の歓迎ムードも台無しにされたって、ちゃんと評価してもらったからな、人民日報から。勲章ですよこれ。まあでもよく調べてるね、100人というのは。東京から大体50人、60人くらいね。あとは地方とか何とかから40人

くらい。それをちゃんと。それは世界最高の情報網を備えていますから。

《在日について》

シナに比べたら朝鮮の問題は高が知れてる。圧倒的ですよ、シナの力は。あと民族性も違いますよ。朝鮮人はやりやすいですよ。だって裏表がないもの。あの人たちは。怒る時は怒るし、笑う時は笑うし。シナ人はわからない。一人ひとりもそうだし、全体として。

パワーにおいても（圧倒的な差がある）。在日中国人の場合は、本国の意向を受けているわけですから、かなり強烈に。そこなんです。確かに民団もかなりそれはあるけど、あんな中国共産党みたいなもんじゃないから。民団とか朝鮮総連というのは、はっきりいって目に見える形であるわけ。それは実際そうですよ。シナ人の場合ね、だけど2年前の長野オリンピックの時は何だったんですか。組織も何もなくたってね、あれだけのことをね、民団だってなかなかできないと思いますよ。だってデモやるだけでさ、よたよたやっているわけですが、整然としているわけですよ。いつの間にかぱっとみんな集まってね、さっといなくなるんですよ。だからシナ人の場合は何か団体が無いとかそういうレベルじゃないと思うんだよね、僕は。恐ろしさを感じますよ。

（だから）僕は、その主題（在日コリアンに関わるトピック）を取り上げて僕自身がやるって運動はしなかった。彼ら（他の「行動する保守」団体）がデモとか何かやるときには僕も参加するか何かしていたけど。それとか彼らが税制の——たとえば民団のいろいろな施設の減免措置とかやっている、そういう具体的な問題に対しては特権だよ、として僕は〇〇市でもやりましたし。あとは具体的にいえば、中華街構想なんかはやりましたよ、やっぱりね。あと朝鮮学校の公園の勸進橋の公園、あれもやりましたよ。おかしいじゃないかって。

拉致問題とか何とかやってるけど、それは終わっちゃったから。あれは日本政府がやめたしね。肝心の被害者家族会がやらないから。横田めぐみさんがね、首相官邸と国会の前で座り込みやればいいんだよ。やらないから、絶対。そうすると終わったんですよ。僕は信じられない。自分の子どもでしょ。自分の子どもも拉致されているっていう

のにさ、日本の国が国家としてやらないのに何で黙っているんですか。それで国から活動資金もらって、話にならない。だからこれも愛想つかしてやめた。拉致問題も、僕は一番最初からやっているから。今から10年くらい前。一番には学士会館で旗揚げしたんですよ。第一回目の街頭での署名活動なんか全部やっていた。会ができる前から。横田めぐみさんの蓮池君のね。（ミサイル発射時）も抗議なんかはやってましたね。朝鮮総連のところ。

《外国人参政権について》

（外国人参政権の）問題ねえ。いくつかあるけどな……。あれは主に在日朝鮮人の人たちでしょう。この在日朝鮮人の韓国の連中と、それとあと創価学会の問題ね。これが非常にやっぱり密接なつながりがあるっていう。それは僕も情報としては知っているけど、情報をね、確固たる根拠に基づいて資料をそろえたってわけじゃないけど、ただ新聞のニュースとかなんかを見るとね、公明党の議員とか自民党の国会議員と密着したつながりがあるってなかで、こういう法案ができてきている事態に対しては、非常に由々しきという、それが一番大きいよね。

（95年の最高裁判決のときには）まったくしてないね。というのはね、僕の基本的な問題はシナ問題だから。あと他の問題だってやるわけですよ。靖国問題とかもやってるしね。もう何から何までできないんでね。僕が主導的にもってやるって、そこまで関わってない。この問題に対しては。

国籍の取得の前に、外国人参政権はたいした問題じゃないと思う。なぜかというとな年前に国籍簡易取得制度ってのができたでしょ。あれに比べたら、外国人参政権はどうってことないじゃない。だっていくら外国人参政権たって投票権だけでしょ。高が知れてるじゃない。彼ら、あれ（国籍取得）でもって自衛隊にもなれるしね、警察官からなにからなにまでみんななれるんだよ。外国人参政権が大変だ大変って、簡易国籍法案が成立した後に騒いだって愚かだ、バカだよ。全然やる気もない。僕らは。

今さら外国人参政権が通ったって関係ない。やるんだったら国籍法案ですよ。国籍法案撤廃ですよ。日本の国籍ね、どれだけ高いもんかって、僕は海外に行ったことはないけど、菊の紋を持つ

ていけばフリーパスくらいのことのできるわけでしょ。そんな簡単にね、10年20年でとれるものじゃないですよ。そういう風に厳しくするってことが一番危険な問題であってね。外国人参政権なんか……。僕もやってたけどさ、国籍法案ができてからやる気ない。もう終わっちゃった。国籍法案が2年前に可決するまでは、やってみました。

(では問題はないのか) いや、それはありますけどね、その国籍法案の前にはみんなぶっ飛んじゃう。どうしても受け付けられないですよ。国籍持てば参政権もてるんだから。屋上屋を重ねてというかさ。

## 7. 日本とは 《支配構造》

僕は、巨大な日本の政治は自民党を中心とした利権分配集団がね、日本の国を支配していると思っている。それは左翼の方たちは以前は、米日独占資本とそれに対する日米安保条約という軍事同盟がね、日本国民を弾圧して収奪している。僕はそうじゃない。基本的にはまだ日米安保条約という軍事同盟でね、僕らなんかのときだったらやられるだろうと思うけど、基本的には自民党を中心とした利権分配集団が戦後の日本を支配してきている。

ですから、民主党と自民党は私(にとって)は兄弟です。利権分配集団っていう本家が自民党であってね、民主党はその分家ですよ。今その分家が本家をのっとったんですよ。その傘下にね、いる民社党とか小さな党がいっぱいあるわけであって。それが明確に僕がそういう風に規定したっていうのは、あの小選挙区制が実施されて、政党助成金が交付されるようになった。で、細かい数字はわかりませんが、年にだいたい金額に換算すると3億円くらいの供与を受けているわけでしょ、国会議員は。特に新聞図書費が1ヶ月に100万円もらっているって。今まで日本ですごい、こういう階級ってのは存在しなかったんですよ。日本の国には。それが750-60人もいるわけでしょ。新しい日本の支配階級が出現した、そういう風に僕は考えているけど。まずこの利権の構造を認識して、これを撤廃するところから始まらないと僕は日本の再生はないと思っているし。

### 《日本人の変質》

僕はだから保守でも何でもない。僕ははっきりいって革命(指向)ですよ。革命ってのはマルクス=レーニンの古典的な暴力革命ってことじゃなくてね。それと並行してね、政治制度は革命っていういろいろできるでしょう。だけど結局制度を運用するのは人間だから、この人間がね、平成の時代に入ってまったく変わったと思っているんですよ。目に見える形で日本人ががらっと変わったってのは、平成の時代に入ってからなんです。要するに学級崩壊ってなった、さらに服装の乱れ、自由化。服装の自由化。あの、とにかくもう服からパンツ出して見せて歩いたってどうってことない。しかもそういうのを学校が容認する。あと電車の中で飲み食いするだとかね、そういうのは、昭和の時代まではなかったんですよ。はっきりいってなかったんだ、これは。平気で学校だってね、子どもの……たっってこれでもって問題起きることはなかったですよ。

平成の時代に入ってね、粗相して怒られた子の親が学校に乗りこんでね、教師に暴力をふるう、これは別に珍しいことではなくなった。電車の中でキスする。飲み食いしたって平気。学校の中で携帯電話したって教師が注意もできない。これだからもう崩壊してると。こういう主役を担っている人たちがね、一人ひとりの国民権という権力を握ったらどうなるかっていう。だから物事はもう事物とか物事の概念というのは、ある一定程度の条件でもって反対の側に転化する、これは哲学で対立面の統一っていうけどね、はっきりいって僕はわからないね。難しいと思う。日本を再生するっていうのは。

じゃあ、なぜそうなったか。侍がなくなっても、少なくともまだ侍って明治の時代の薫陶を受けた世代が残ってたんですよ。昭和の時代までは。昭和天皇が亡くなられたからではなくて、昭和っていう時代が明治の時代の薫陶を受けた昭和の時代がなくなったんだから、人間が変わったって。僕は今の日本ってのは、日本人の顔をして日本語を操るけど、まったく今まで、僕らみたいな人間がイメージした人間とは違った人種が、この日本列島に生育していると、僕はそう思っているんだよ。それは、思想の右と左を問わずに日本列島を貫いている。

それとあと問題は、今まではどっちに転んでも何しようが、とにかく日本人の間だけで問題を処

理できたんですよ。今そうじゃないでしょ。これだけ大量のシナ人が日本に来て、黙っていませんよ。あとそれと何ていったって日米安保条約ってあるから。何かの時にこれを発動するわけですよ。一番発動するのはその時のためなんじゃないですか。シナがね、尖閣諸島とか東シナ海の領有を侵したからといって、アメリカ軍は全然出動しないから。爆撃機が60年代に日本列島を横断した時、アメリカ全然スクランブルかけないでしょ。日本の自衛隊だってケツくっついて歩いているだけだし。威嚇射撃すらできなかったわけだから。

けども、我々が武装蜂起したらやるだろう。じゃないかな、やれるかな。日本の自衛隊はやれねえだろう。アメリカはやるだろう。なぜ日本の自衛隊はできない？ 法律がどうのこうのじゃなくて、この間の大震災みたらわかる。要するに、心のケアがなければ死体の収容できないってわけでしょ。今や心のケアが必要な時になってきちゃった。だって軍隊だよ。しかもね、自衛隊は缶詰と冷たい食事で救援活動に当たってる、何ですかこれって。当たり前話じゃない。お前達のために税金もらって訓練してきたんじゃないかって。これはね自衛隊の広報が出すんですよ。するとね、あなたがたこうしてもらいたいんですか。被災者が冷たい食事をしながらね、暖かい食事を自衛隊の皆さんに食べてもらってますって。

だから日本はね、思想の右左とかなんかじゃなくてね、究極の偽善の国家を、偽善を歩んでいるんですよ。偽善なんですよ。右と左で死ぬか生きるかの繰り返しね、国家は滅びないですよ。明治維新のときもそうだったしね。やってやられて、でも国が滅びるとかならないですよ。

#### 《日本人とは》

じゃあこの日本人をどうやってみるか、そこから始まっていく。日本人は基本的には羊とかヤギっていう草食動物。それで日本列島は、ある意味じゃ家畜小屋みたいなもんですよ。それは正に極東の海の上にぼつんと離れたところにあって。

僕ら、今こういう勉強会やってるけどね、吉川弘文館から世界史地図って出たけど、あれでもって勉強会やってるんだよ。僕ら今ね、世界史の勉強会やってんですよ。〇〇先生が講師になってね、朝鮮海峡を隔てて、他の国は興亡の歴史を繰り返

してきているわけですよ。王朝なんていうのは瞬く間に消えていくような、そういう世界の勉強しているわけですよ。そうすると、日本はどうかというと地図見ると日本の国だけはずっと変わらないでいるんだ、やっぱり。世界の特殊。何も日本人が強くてね、日本人が特段強くて優秀だからとかで今の時代まで残ってきているわけではないと思っている。それは非常に地政学があったから。圧倒的ですよ。今これだけグローバルになったといっても、日本海があるのは決定的です。東シナ海、日本海に囲まれているのは。

それでね、羊という草食動物がなぜ明治維新やって日清日露、大東亜戦争までやってダメだったけど戦えたかという、キーワードがあるんですよ。それは侍っていう獰猛な狼がいたんですよ。この日本列島には。少数の軍事においても特段の少数のエリート、侍がいたから草食動物をきちっと統御してきた。でなきゃ存在していないんですよ。その侍の階級ってのは、基本的には僕は東大東亜戦争でみんななくなったと思っている。その侍階級がいたから明治維新できたしね、日清日露闘えたし、大東亜戦争までつながらなかったけど…。

結局、国を運営するのはコンピューターの数値でも何でもなくて、人間ですから。そういう面で僕は——僕なんか今回のね、東日本の大震災をみてね、海外のメディアは暴動起きなかったとかさあ、なんか非常に統一的な行動して成人としてなんてほめてたけど、それは日本の保守が喜んでしょうがない。『産経新聞』あたりが。だって日本人はみんな素晴らしいって、だったら何で金庫泥棒とかこそ泥が頻発するんですかって。説明できない。特に保守がバカだ。弱い。メンタリティが非常に脆弱だ。

なぜ暴動しない。なぜ略奪しない。必要がないんですよ。なぜ必要ないかって。だって避難所に行けばね、風呂とかテレビもなければ、食事には困らないですよ。やる必要ないんですよ、何も民度が高いんじゃない。生きるってぎりぎりの選択の場面でのエネルギーの発散、情念の爆発がないのよ。弱いんですよ、羊だから。今までずっと家畜小屋で飼いならされてきて、平安時代から奈良時代から。光明皇后とかね、ああいった人が要するに救助米とかなんとかがやって、秘殿院とか作ってね、やってきてるんですよ。江戸時代だってそうですよ。ずっとそういう風にされてきている。

水戸黄門なんかそうでしょ。日本人、水戸黄門なんで好きか。結局自分が何もやらなくたって悪いやつ退治してくれれば面白いでしょうに。助さん格さん。日本人が主体になってね、革命やるってそういうのはないですよ。

今度の震災のとき小学校とかさ、ああいうところに収容されている大人みてみるとよくわかりましょ。大のいい大人がね、食べるものがないとか毛布がねえとかいって泣くわけでしょ。大変な目にあっただって。そういうの僕は信じられないね。家族のいる前で。泣くんだから。こういうとき日本人ってのは弱くてヤギなんです。羊なんです。ヤギ、羊を一番できてないのが保守なんです。右翼なんです。天皇は125代が、皇統2600年、これさえ知っていればあといいんですよ、っていうふうに僕は思う。

#### 《愛国心》

あと、今日本人は絶滅したとなれば、日本の国を成功させるためには、日本列島に骨をうずめて日本人を愛して日本人として生きたいと、こういう人であれば外国人だって構わないと思うよ。ちょうどコウノトリをシナからもらってきて、ああいう形にせざるをえないんじゃない。日本人は弱いわけですから。それは何においてもそうですよ、学力においても気力においてもそうだし。

難しい問題…僕はだからそんなにこだわらないな。日本のために大和魂だって、ボクシングのフジタケシって知ってる？ 「大和魂！」って勝った時に叫ぶんだ、外国人だけ。シナ人、朝鮮人、腐った日本人よりはるかにいいじゃないですか。ちなみに僕の大和魂の概念は、国難を前に燃焼爆発する民族精神。これが大和魂。

(国難とは) 日本の国家主権、さらにその日本民族の誇り。主権ってのはつまりあれでしょ、いろいろありますよ。領土の問題だって主権だし。教育の問題だって主権だし。あと今回も原発のね、第一原発の原子炉を鎮火する、これだって国難ですよ。特攻隊募って突っ込むくらいのことやらないと。さっき言ったようにね、暴動とか略奪と同じようにね、生きるか死ぬかの時に発散するエネルギー、人間の情念、それですよ。まあ日本の場合は大和魂って僕は言うけど、それぞれの民族に皆あるんですよ。何も大和魂は日本人の問題ではない。そこは僕は排外じゃない。ただ大和の国に

生まれているから僕たちは大和魂と呼んでいる。

オーストリア、ドイツとかあの辺の昔のヨーロッパの神聖ローマ帝国とかあそこまでいけば、ゲルマン魂になるわけだし。ベルギーだとかスイスだとか、あの辺全部がそうなわけでしょ。元は皆同じなんだからさ、オーストリアとか。ゲルマン魂。我々は大和魂ですよ。民族精神ですよ。愛国心ですよ。同じですよ。その後には僕は常日頃いつているのは、大和魂は保守派の知識人が己の教養を飾るアクセサリーではないって。

#### 8. 結語に代えて

α氏の場合、教科書やチベット問題といった1980年代の反中国活動が、外国人排斥の背景にあった。それに加えて、河野・村山談話や女性国際戦犯法廷といった歴史修正主義も作用している。だが、朝鮮半島より中国の方が重要と語るように、α氏は在日コリアンよりも在日中国人を脅威として捉えている。現実には、脅威と呼ぶにはあまりに瑣末な北京五輪での長野聖火リレーを挙げ、中華街が本当に脅威ならば世界中が中国に侵略されているはずだという思考にも至らない。中国の台頭を背景にした中国脅威論と一見共鳴するようにみえるが、「中国」に比べて「中国人」の脅威をめぐるエピソードはあまりに現実味に乏しい。

しかし、そうした荒唐無稽といってもよい在日中国人脅威論が、一定程度受容され現実離れた中国人像が作られていくこと自体が、東アジアの特徴ともいえる。すなわち、この地域の地政学的状況が欧州とは異なる排外主義を生み出す土壌となるわけだが、この点については稿を改めて論じたい。

#### 文献

瀬戸弘幸, 2000, 『外国人犯罪』セントラル出版。

Szymkowiak, K. and P. G. Steinhoff, 1995, “Wrapping Up in Something Long,” T. Bjørgo ed., *Terror from the Extreme Right*, London: Frank Cass.

(付記) 本稿は科学研究費補助金による研究成果であり、稲葉奈々子、申琪榮、成元哲、高木竜輔、原田峻、松谷満の各氏との共同研究によっている。記して感謝したい。